

新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

3月の月間 水と衛生月間

本日の例会プログラム 第2186回例会 令和6年3月18日

- ・外部卓話
- 児童養護施設 カリタスの園
- 児童養護施設 みんなせい館
- 児童養護施設 青島学園
- 児童養護施設 さくら学園

会長挨拶

井上竜志会長



みなさん、こんにちは。

本日、長嶺ガバナー補佐がお見えですので、後ほどお話を賜りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

先週から風が冷たく、朝晩少し冷えまして、寒の戻りでしょうか？「暑さ寒さも彼岸まで」といいますので、今週末17日が彼岸の入りですので、寒さも今週あたりまでかなと勝手に思っております。

今日は、3.11、2011年に東日本大震災が発生しまして、津波が起きたことにより、福島第1原発の大惨事に見舞われました。

原発の事故としては、最大レベルの事故でした。今でも原発の付近では、居住を制限され、帰還困難区域があるとのことで、一部では11、2年を経て避難指示が解除され、ようやく人が住めるようになったようです。この宮崎の地では、想像がつかないとても大変な生活環境にある状態だと思います。

最近、県北のほうでも地震が目立つようになってきて、不安に感じています。宮崎県は南北に長い日向灘海岸に面していますので、津波が起きた時の被害が大きくなると予想されていますので、十分注意したいものです。

地震の話はちょっと暗くなりますが、心のどこかに思って頂けると良いかと思えます。

今日は、ガバナー補佐のお話や、入会式もごさいますので、このへんで終わらせたいと思います。

宜しくお願いします。

出席委員会報告

井野元孝洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(55)56名	メイクアップ数	3名
本日欠席者数	20名	修正出席率	66.67%
本日出席者数	36名	メイクアップされた方(敬称略)	池田靖洋、大浦秀幸、大迫三郎
出席率	65.45%		

ニコニコBOX	0件	0円
	累計	190,000円

募金箱	5,619円
	累計 140,207円

幹事報告

村野 裕幹事



- ・ロータリー奉仕デー海岸清掃について以下日程で開催いたします。会員の皆様のご参加をお願いいたします。

3月31日(日)10:00～12:00

青島海岸（パームビーチホテル付近）にて

●入会式

中武昂太様 エヌエクサービス(株)

推薦者 中川英治会員



国際奉仕委員会

高瀬俊彦委員長



国際奉仕委員会から、タイ国チェンマイの訪問企画のお知らせです。

2019年度より、当クラブで行ったタイ国チェンマイ県オムコーイ郡医療従事者養成奨学金事業で育成したエムワリー・ハーンモンさんを労い、当時の状況報告等の面談、またエージェントとしてご足労頂いた市毛みどりさんへのお礼の為のセレモニー、そして周年事業のリサーチ、現地クラブとの交流諸々を兼ねた盛沢山の企画を立てておりますので、多くの皆様の参加をお願い致します。

ガバナー補佐挨拶

宮崎県中部グループ 長嶺貴臣ガバナー補佐



皆様こんにちは、ガバナー補佐の長嶺でございます。2月4日はインターシティ・ミーティングご参加いただき誠にありがとうございました。

今回は、ガバナーにも地区の会合の場で2度、宮崎県中部グループのIMは米山セミナーを行いますとお話しておりました。

ゲストの一人目はホームカミング制度を使いインドネシアからナターシャさんにお帰り戴きました。ナターシャさんは内科の女医でございましてロータリーのテーマの一つでありますメンタルヘルスについてもお話しいただきました。ナターシャさんは前日鹿児島島のIMでもお話され宮崎にお越しいただきました。その日程もありまして2月4日の開催となりました。

また、もう一人米山親善大使のスリランカで僧侶（幼少の時より）となられましたスマナサーラさんにもお越しいただき、米山奨学生として終了されてからの活動でどのようにして世界平和に取り組んでいらっしゃるかをお話しいただきました。今回のIMは米山スペシャルセミナーでした。いかがでございましたでしょうか。ロータリー米山奨学会のことを少しでもご理解いただけましたでしょうか。

皆さんにはご協力いただきまして誠にありがとうございました。

さて、私のガバナー補佐として残すイベントの一つでありますロータリー奉仕デーにつきましてお話させていただきます。ここ3年間地区社会奉仕委員会が取り組んでこられました環境美化につきまして、3月31日（日曜日）に青島海岸の清掃を行いたいと思います。当日は簡単な、お弁当を登録されました個数分準備いたしますので登録をよろしくお願いいたします。また、ご家族でお見えになられます方は皆様のお名前をご登録ください。小雨でも行います。雨天中止の判断は3日前に事務局へご連絡いたしますので、ご参加いただけます皆様は各クラブでLINE登録をしていただきますと連絡が付きやすいかと思っております。また当日雨が強くなりました場合は、お弁当が届くのを待っていただき受け

取られてから解散といたします。

以上ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は月初めの貴重な例会にお話しする場をいただき誠にありがとうございました。

会員卓話

橋口 徹会員



みなさま、こんにちは

私がこちらにお世話になって2年がたとうとしています。いつ異動になるかわかりませんが、引き続きご指導ご鞭撻をおねがいします。

私事ですが、先日2月に宮日新聞に載りました。大きく取り上げていただきました。多くの皆さまに声をかけていただき、影響力も大きいなと思った反面「さすが支店長、立派なことを話すね」というご意見をいただきました。それを受けて、ひとつ訂正したいことがあります。

当初、本社にインタビューを受ける旨を伝え、確認したところ、「別に内容は任せますよ～、査閲が必要であればみますけど」といわれ、安心してインタビューに臨みました。

ドラフトをいただき、本社にみてもらったら、8割方直されました。あれは本当の私ではありませんので、訂正させていただきます。

さて、今日は何を話そうかということですが、やはり皆さま方が一番気になっていることは日本株あがっているけど、どうなるの？という話かと思っておりますので、その話をさせていただきたいと思っております。

まずは先日弊社の社長から社員に送られたメッセージを一部抜粋して話したいと思います。「バブル期を知る古い世代は「失われた30年」などとよく言いますが、日経平均は2009年以降、現在に至るまでの15年間、すでに大きなトレンドとしての上昇相場が続いています。15年と言えば、当時の新入社員もすでに40歳に迫る中堅となっています。実は、失われた30年とか最高値更新とか言って騒いでいるのは、マスコミや我々古い世代だけであり、上昇相場を十分に経験してきた若い世代からすれば、この最高値更新も株価上昇過程での単なる通過点に過ぎず、ある意味当然のように受け止めているのかもしれま

せん。それでいいのです。日本もインフレの時代に突入しました。この15年間でそうであったように、短期的な上げ下げはあろうとも、長期的にみれば株価は上昇していきます。もう38915円を振り返る必要はありません。皆さんにはただひたすらに上だけを見据えて、業務に邁進してもらえばと思います。」

ということであります。まだまだ上がるであろうという結論なのです。

それでは株価はどうなるのでしょうか？

大和証券のハウスビューでは10月から12月にかけて43000円を付けると予想しています。株価の割高・割安を判断する指標にPERというものがあります。

PERとは株価が割安か割高かを判断するための指標。株価収益率 (Price Earnings Ratio) のこと。利益から見た「株価の割安性」。株価が「1株当たりの当期純利益 (単に1株当たり利益、1株益ともいう)」の何倍になっているかを示す指標。 $PER = \text{株価} \div \text{1株あたり利益}$

予想PERが17.4倍として24年度の1株当たりの利益の予想が2481円ですので $2481円 \times 17.4 = 43000円$ という計算になるのです。

最後になります。確かに現在株価は高いです。私も高いと思います。まだまだあがるという人もいれば、いずれはばばを引かされると言っている人もいます。そして必ずリスクはあります。絶対にうまくいくわけではありません。ただ一方でインフレがすすんできていることは事実です。物価が3%あがりそれにともない賃金も3%あがれば問題ありませんが、なかなかそうはいきません。そうなると現金の価値は下がってしまうのです。証券運用はもちろんのこと、不動産なのかなんなのかわかりませんが、なにかしらの対策が必要であるといえそうです。

村野 裕会員



本日卓話をいたします。村野でございます。本日は先ほど会長からありました通り、東日本大震災から13年、大きな節目の日に会員卓話となりました。災害への備えをお客様へ提供する私共保険業界人にとっても自分の仕事を見つめ直す大切な日です。改めて、亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、まだ震災後が続く被災者の

皆さまにお見舞いを申し上げたいと思います。

冒頭、本年は大変年明けとなり、能登半島地震、羽田空港の航空機事故など、悲惨なニュースから始まりました。また去年は保険業界のニュースが世間を騒がせることもありました。

まず冒頭先ほども申し上げました、東日本大震災から13年が経過しました。震災で亡くなられた方は延べ2万2千人、今なお避難先で生活を余儀なくされている方が2万9千人、未曾有の大災害の影響は令和6年の今日も続いています。私が生業としている保険業界も震災で家族を亡くされた方、家や財産を無くされた方へ生活再建のための保険金の支払いを通して、震災と向き合ったわけです。今日まで様々な証言や経験を経て、いつ起こるか分からないその日に備えること。活かさなければならぬと思います。

能登半島地震では、それらの教訓が活かされ「想定外」を無くし、「一人一人が率先して行動する」ことが活かされたと言われていました。地震保険については、石川県の世帯加入率は30%、これは全国平均を下回っていました。翻って、宮崎県は、さらに低く、30%を割り込んでいるのが現状です。火災保険料の値上がり等、地震保険を取り巻く環境はより厳しいものになっていますが、我々保険業に携わる人間はその大切さを伝え、加入率向上を目指していかなければならないと改めて感じています。

話は変わりますが、昨今サイバー攻撃の件数が急増し、大きな社会問題となっております。一人当たりの平均賠償額は約3万円と高額であり、大企業、中小企業問わず、全ての企業に存在するリスクとなっています。原因調査から被害者賠償、システムの復旧まで包括に補償するサイバー保険も保険会社各社から販売されており、必要な保障分野となってきています。

最後に保険業界として、去年は大変皆様にご迷惑をお掛けする年となり、代理店による不正請求や修理代水増し、保険会社の保険料カルテルなど社会問題となりました。これらの問題を通して、背筋を伸ばし、改めてお客様目線で職業奉仕に邁進して参りたいと思います。4つのテストにある通り、「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」自問しながら今日3.11の卓話とさせていただきます。